

令和6年度第3回白河市行政改革推進委員会（要旨）

日時	令和7年2月4日（火）10時00分～11時30分
場所	地下第一会議室
出席者	委員5名 小林 知二委員長、十文字 由紀子委員、鈴木 富幸委員、 井上 竜一委員、和知 玲子委員
事務局	3名 田崎課長、鈴木係長、大森副主査
内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>（1）令和6年度第2回行政改革推進委員会での後日回答分について</p> <p>【事務局より説明】</p> <p>○委員 ダンボールコンポストについて、市から委員会に対して補助金を交付して実施したということであったが、翌年度もまた行われるのか。希望する方は高齢の方が多いと想定されるが、重量が10キロあるため、車で来る人ではないと難しいため、範囲を狭めてしまうと思う。また、2週間で限定数に達したというのは、周知の仕方にもよるが、担当課としては、早いペースだったと考えているのか。</p> <p>○事務局 この事業についてはごみの削減に取り組んでいるというPR的な意味でやっているところが大きい。このあとどうやって展開していくか等については確認して次回お伝えする。</p> <p>なお、白河市環境衛生委員会の予算内でダンボールコンポストを購入しており、令和6年度は15万円程度の予算で50箱購入している。</p> <p>○委員 ダンボールコンポストの周知についてはどのように行っていたか。回覧板などで周知していたのか。</p>

○事務局

HPにて周知を行っていた。50個限定ということもあり、回覧板での周知は行っていない。

○委員

ただ配付するだけでなく、どのくらいごみが減ったかまで把握できると望ましいが、50箱だとサンプルとしても少ないように感じる。

○委員

西郷や矢吹といった近隣町村でも同じ取り組みは行っているのか。

○事務局

近隣町村の状況は確認していないため、確認し回答する。

(2) 第2次行政経営改革プラン重点戦略進行管理シートの中間報告
(令和6年度分)

【事務局より説明】

○委員

証明書関係について、印鑑証明や住民票等はコンビニで取得できるが、その種類はどうやって決まっているのか。

○事務局

コンビニ交付については全国で統一されている。

○委員

オープンデータについて、整備が進んでいないようなので、整備計画のようなものがあってもよいのではないかと。

○事務局

他の自治体では多くのデータをHPに掲載している所もあり、企業をはじめとして活用したいと考えている人はいると思われるので、担当部署とも整備を進めていく方向で話をしたい。

○委員

担当部署はどこになるか。

○事務局

情報政策課になる。

○委員

最近のニュースの影響もあり、施設の老朽化よりも、地中の老朽化に関心が向いている。インフラとして重要な水道管の修繕の取り組みなどを

周知していくのも、市民の安心材料となるかと思う。

○事務局

全国的にも水道管の老朽化は大きな課題だが、限られた予算の中で随時古いものから更新を行っている。周知の部分については、市民の安心につなげるために情報発信も必要であるため、担当部署の方に伝える。

○委員

使われていない施設についてはどのくらいあるのか。売却して一般の方に使ってもらえるのも一つの手ではないか。

○事務局

主に学校関係になるが、廃校となった信夫第二小学校、大屋小学校、五箇中学校については財政課で利活用について検討しており、信夫第二小学校については手を挙げているところがある。その他にも表郷の老人福祉センター等、廃止となった施設があるため、これらについても取り壊して更地にする等、利活用について検討していくことになると思われる。

○委員

老人福祉センターはどういった理由で廃止となったのか。

○事務局

利便性が悪いことなどから、利用者が少なくなっているのが原因として考えられる。

○委員

学校の土地は簡単に売れないものなのか。

○事務局

用途廃止をして普通財産とすれば売却は可能。

○委員

学校を買い取るとなった場合どのくらいの費用がかかるのか。他自治体の事例としてはキャンプ場等としての使用などがあるが、一般の人でも買えるのか。

○事務局

おそらく買い取りではなく、貸し出していることが多いと思われる。また、街中にあるわけではないので、地域の人が有効活用してくれるのであれば、貸し出すといったことも考えられる。

○委員

学校の統合についてはどうなっているか。

○事務局

小田川小学校と小野田小学校では複式学級となっている学年があり、保護者の意見も聞きながら検討している。東地域では幼稚園が1つ、小学校が2つ、中学校が1つで、小学校の時だけ分かれるような形になっており、そういった点からも統合の方向になるのではないかと考えられる。

○委員

小学校や中学校は災害時の避難場所としても指定されているのか。

○事務局

今確認はできないが、体育館などもあるため、多くの小中学校は避難場所に指定されていると思われる。なお、廃校となった大信の2つの小学校については、山を背負っていて危険なため、避難場所には指定されていなかったと記憶している。

○委員

学校関係でいうと、西郷村は出生数が増えているため、西郷の子どもを白河で受け入れるということも想定されると思う。

○事務局

教育委員会の方で西郷村と協定を結んでおり、境界近くで白河の学校に行っ方が近いなど、理由がはっきりしていれば受け入れが可能となっている。職員数も減っていく時代であるため、基本的な事務を標準化し、広域的に事務を行うことも必要になってくるとと思われる。

○委員

NHKの大河ドラマ関連で、白河市の南湖公園がスポットライトを浴びることが期待されるが、大河ドラマにどう関わっていこうと考えているのか知りたい。観光客が来ても食事をする場所や宿泊施設が少ないのではないかと思っている。

○事務局

確かに宿泊施設が少ないので、基本的には日帰りで観光に来てもらうことが想定される。また、大河ドラマ関係については、郵便局と連携し、のぼりや郵便局の車を利用してPRしていくことも検討している。

○委員

小峰城は駐車場も櫓に登るのも無料になっている。

○委員

そういったところで数百円でも料金をとるとよいのではないか。

○事務局

人件費の方が高くなってしまわないかと思われる。

○委員

クラブツーリズムのバスは頻繁に白河に寄るが、小峰城の観光だけしてすぐ次に行ってしまう。

○委員

例えば無人の機械を導入するなどして駐車料金だけでも取るのはよいのではないかと思う。駐車場近くにカフェやお土産屋さんがあるとよい。

○委員

観光客相手ならよいが、市民が利用するときにも料金がかかってしまう。

○委員

市民割引をするなどして対応するのがよいと思う。

○委員

観光客が増えるとオーバーツーリズムの懸念もある。

○委員

大河ドラマの効果で一時的には観光客が増えるかもしれないが、それを継続するのが大事。

○事務局

まずは白河市を知ってもらい、来てもらう必要がある。他自治体も含めて県内を観光してもらって、その中で白河市も寄ってもらってお土産を買っていってもらえたりするとよい。

(3) その他

【翌年度のスケジュール及び会議内容について事務局より説明】

4 閉 会